

2020年9月28日

デジタルトランスフォーメーションへの取組みについて ～「統合データベースチーム」を新設します～

佐賀銀行（頭取 坂井 秀明）は、デジタルトランスフォーメーション（※1）への取組みの一つである顧客情報統合データベースの構築に向けて「統合データベースチーム」を新設することとしましたので、お知らせいたします。

デジタルトランスフォーメーションへの推進を通じてビジネスプロセスを最適化し、お客さまへの付加価値の高い提案やソリューションの提供、ならびに当行の生産性向上に繋げてまいります。

記

1. デジタルトランスフォーメーションへの取組みについて

ウィズコロナを前提としたニューノーマル（新しい生活様式）の世界への対応など、ビジネスモデルの転換が必要となる中、当行においても環境の変化に適応し、デジタル技術を大いに活用しながらお客さまや地域のニーズにこたえていくため、デジタルトランスフォーメーションを推し進めています。

現在、当行では、長期視野での環境分析と経営戦略を踏まえたシステム戦略構築をテーマとした「システム戦略」、お客さまへのデジタルを活用したサービス立案をテーマとした「デジタルトランスフォーメーション」、今回新設する「統合データベース」の3つのプロジェクトを立ち上げ、研究・検討を行なっています。

2 「顧客情報データベース」構築の目的

当行で運用している勘定系、情報系、および営業系サブシステム内でそれぞれ保有する顧客情報を一元的に集約・蓄積・管理し、統合したデータを基に取引傾向など精度の高い分析を行うことで、お客さまへの付加価値営業や、より効果的なプロモーション・商品開発に繋げていくものです。

また、顧客情報統合データベース内の各データを1画面上で操作するポータル画面を導入し、営業店でのシステムに関する操作性や効率性を高め、行員の負担軽減を実現していきます。

3. 「統合データベースチーム」新設の目的・内容

総合企画部内に「統合データベースチーム」を新設し、「顧客情報統合データベース」の早期構築を目指します。

また、現在当行が取り組んでいる営業店のBPR（※2）の一環として、同データベースを中心にデータをフル活用した営業スタイルにシフトしていくため、当行の各システムや業務の再構築によるビジネスプロセスの最適化を図っていきます。

このまちで、あなたと



佐賀銀行

4. 「統合データベースチーム」配置メンバーについて

本チームは、チームリーダーとして千綿泰隆（前任：姪浜支店支店長）、ならびにチームメンバーとして陣内秀昭（前任：博多支店融資係担当役席）、西山枝里（前任：営業支援部ソリューショングループ担当）、井手和馬（前任：大和町支店得意先係担当）3名の合計4名を配置します。

営業店と本部の営業系業務経験者両方の人財を配置することで、お客さまや営業現場の目線やニーズ等を汲み入れた実効性の高いシステム構築を目指していきます。

5. 新設日

2020年10月1日（木）

（※1）デジタルトランスフォーメーション（DX）

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

（※2）BPR（Business Process Re-Engineering）

既存の業務を根本的に見直し、プロセスの視点で再設計すること。

以 上

本件に関するお問合せ先

総合企画部（北島）
TEL 0952(25)4553